シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	コミュニケーションサポートⅠ
学科・コース	本科共通
担当教員	各担任

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	時間数は45分換算です
実技	1	通年	必修	30	1	

授業目的 到達目標	始業式、終業式、Ｓ－ＡＩＲフェスタ等、学内の各種行事を実施するための科目です。コースを超えての集団行動や活動を通して多くの交流を持つことを目的とします。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	1～4	入学式
	5～16	オリエンテーション・健康診断
	17～20	S-AIRフェスタ
	20～22	終業式
	23～24	業界セミナー
	25～26	始業式
	27～28	ニューイヤーセミナー
	29～30	終業式

成績評価方法	出席率に準じて評価（学校行事への参加での評価）（１００％）
使用テキスト／教材	なし
獲得スキル	コミュニケーション能力
関連科目	コミュニケーションサポートⅡ
その他	

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	立居振舞い						
学科・コース	本科共通						
担当教員	小澤、小尾、阪本、草場、水谷						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	就職活動で評価される所作、表現力、話す力を身に付け習得することを目標とします。 また社会に出る前の準備として立ち居振る舞いと自己表現の強化を図ります。						
授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業	○	調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ ○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業		

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	１～４	面接の為の基本マナー①：印象・話し方・簡単な自己紹介
	５～８	面接の為の基本マナー②：所作と自己紹介・WEB面接対応
	９～１２	所作・自己紹介・自己PR　※就活セットの準備
	１３～１４	所作と自己PR・基本の質問
	１５～１８	面接対応力UP（自己分析から答え難い質問まで）
	１９～２２	所作とディスカッション
	２３～２６	送付状・お礼状の書き方、メール返信の仕方
	２７～２８	グループディスカッション
	２９～３０	就職活動対策前のまとめ
		※別時間に業界セミナー実施

成績評価方法	出欠席　４０％　　取り組み姿勢・提出物　　６０％
使用テキスト／教材	マナーBOOK　2022 、講師作成プリント
獲得スキル	就職活動で必要とされる所作、表現力
関連科目	キャリアサポートⅠ・Ⅱ
その他	身だしなみを整え出席のこと（ｵﾝﾗｲﾝ授業時も同様）※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	キャリアサポートⅠ
学科・コース	本科共通
担当教員	山崎　弘

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
講義・演習	1	通年	必修	90	6

授業目的 到達目標	職業教育を受けた学生が個々の価値観を実現するキャリア形成をスタートするため、労働の意義と職業観を確立し、最適な就職内定獲得する準備及び行動を開始する

授業手法								
・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド		

アクティブラーニング								
事前学習型授業	○	反転授業		調査授業	○	ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1 ～ 4	就活の秘訣、自己分析の必要性
	5 ～ 12	自己の価値観を理解し、強みとなりたい自分の確立
	13 ～ 18	企業とは、企業と労働者、企業の求める人材の理解
	19 ～ 24	説得的就職活動とは、職業観の確立
	25 ～ 30	業界と職種についての理解と研究
	31 ～ 36	就活に用いる履歴書の精度を上げる
	37 ～ 42	就職活動のプロセス理解と、就職支援サイトの利用
	43 ～ 48	企業研究演習①
	47 ～ 54	就活に用いる各種文書の準備
	55 ～ 60	企業研究演習②
	61 ～ 66	自己ＰＲ作文演習
	67 ～ 72	志望動機作文演習
	73 ～ 78	エントリシートの試作演習
	79 ～ 84	就活をすることにより社会人基礎力を養う
	85 ～ 90	実践就活の開始、就職対策準備

成績評価方法	【前】・期末筆記試験（30%）、前期課題（30%）、出席率（40%） 【後】・後期課題（50%）、出席率（50%）
使用テキスト／教材	・シュウカツワークBook ・レジュメ（キャリアデザインノート）
獲得スキル	自己のキャリア形成
関連科目	キャリアサポートⅡ
その他	

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	ＩＣＴリテラシーⅠ
学科・コース	本科共通
担当教員	白鳥佑弥

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	1	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Office365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1-6	初期設定、ソフトのインストール作業、利用上の注意事項
	7-14	PowerPoint（プレゼンテーション作成演習）
	15-20	PowerPoint（画面効果、アニメーション効果）
	21-36	PowerPoint総合演習
	37-40	Word（文書作成演習）
	41-44	Word（画像挿入を利用した作成演習）
	45-52	Excel（表計算の基礎演習）
	53-56	Excel（データ操作の基礎演習）
	57-60	まとめ

成績評価方法	評価試験（Excel） 60% 、PowerPoint演習 20% 、Word演習 10% 、出席率・学習意欲 10%
使用テキスト／教材	情報リテラシー、PowerPoint検定問題集
獲得スキル	Office2019（PowerPoint、Word、Excel）の基本的な利用スキル
関連科目	ＩＣＴリテラシーⅡ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である ・Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標登録です ・本文では、TMおよび®マークは明記しておりません

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	英会話Ⅰ
学科・コース	本科共通
担当教員	Cook、Swift、Anthony、関根、山梨、大石

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	1	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	This course is topic-based and provides students with opportunities to explore various topics in English. Activities include interviews, role-plays, and other task-based activities.

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1～6	Unit 0: Placement Test (placement into 6 levels - A to F) Unit 1: Introductions (biographical information)
	7～12	Unit 2: Family (likes, dislikes, and describing people) Unit 3: Neighborhood (explaining landmarks and giving directions)
	13～18	Unit 4: Diet & Exercise (food nutrition, diet, ingredients, health advice) Unit 5: Food (likes and dislikes, making lunch plans, explaining foods in English)
	19～24	Unit 6: Money (saying large numbers, buying tickets, asking about previous experiences) Unit 7: Music (music genres, making suggestions, buying music)
	25～30	Unit 8: Pets (popular pets, pet names, personal pets) Unit 9: Shopping (brand goods, cost of items, shoppng for gifts)
	31～36	Unit 10: Vacations (tour planning, making a schedule, travel experiences) Unit 11: Movies (movie genres, designing a movie, buying tickets)
	37～42	Unit 12: Celebrities (celebrity news, celebrity lifestyles, interview questions) Unit 13: Work (career guidance, interview questions, advice about work issues)
	43～48	Unit 14: Love & Romance (personal characteristics, birthday and anniversary gifts) Unit 15: Airports & Airplanes (check in counter, meal service, flight experiences)
	49～54	Unit 16: Hotels & Tours (hotel experiences, check in counter, hotel facilities) Unit 17: Christmas & New Year (festivals and important yearly events)
	55～60	Topic Review Oral Proficiency Test

成績評価方法	Oral Proficiency Test （100%）
使用テキスト／教材	English Conversation I Textbook
獲得スキル	English Speaking & Listening
関連科目	英会話Ⅱ
その他	This class is conducted primarily in English, Students are asked to try to maintain an English only environment as much as possible during class and activities. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	英語検定Ⅰ
学科・コース	本科共通
担当教員	Anthony Cook、杉山、関根、山梨、大石、伊藤

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
講義・演習	1	通年	必修	120	8

授業目的 到達目標	グローバル社会に対応するための英語力習得のため、レベルに応じ編成した６クラスにおいてそれぞれ目標スコア達成を目指す。

授業手法								
・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド		

アクティブラーニング								
事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1～2	プレイスメントテスト・イントロダクション
	3～6	Part 1 Photographs (single, multiple, sound distractors)
	7～14	Part 2 Question & Response (Q types, direct/indirect responses)
	15～20	Part 3: Conversations I (General questions)
	21～26	Part 3: Conversations II (Specific detail questions)
	27～32	Part 4: Short Talks I (General questions)
	33～38	Part 4: Short Talks II (Specific detail questions)
	39～50	Part 5: Incomplete Sentences (Part of Speech, prepositions)
	51～62	Part 5: Incomplete Sentences (pronouns,vocabulary, verb form)
	63～74	Part 6: Documents (grammar & vocabulary)
	75～86	Part 6: Documents (sentence context questions)
	87～98	Part 7: Single Passages (general & specific questions)
	99～110	Part 7: Double Passages (general & specific questions)
	111～120	Part 7: Multiple Passage (general & specific questions)

成績評価方法	資格試験スコア(90%)、出席率・平常点(10%)
使用テキスト／教材	新TOEICテストスーパー英単語・各レベル別クラス選定のテキスト
獲得スキル	コミュニケーション英語運用能力(Speaking, Listening,Reading,Writing)
関連科目	英語検定Ⅱ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	マナー・接遇Ⅰ
学科・コース	本科共通
担当教員	小澤・小尾・阪本・草場・齋藤

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習・実技	1	通年	必修	90	3

授業目的 到達目標	前期は社会人としてマナーや接客対応の考え方を学び、必要な資質を身につけることを目標とします。また、サービス接遇検定2級（筆記）、準１級（実技）の取得を目指します。 後期はコミュニケーションのツールである日本語を正しく理解し、使いこなすことを目標とし、日本語検定の3級・4級合格を目指します。

授業手法												
	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド					

アクティブラーニング												
	事前学習型授業	○	反転授業	○	調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ					
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○				
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業							

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	2	本校マナーの基本を学ぶ
	3～6	サービススタッフの資質（１）必要とされる要件（２）従業要件
	7～10	専門知識（１）サービス知識（２）従業知識・一般知識（３）社会常識
	11～14	対人技能（１）人間関係（２）接遇知識（３）話し方（４）服装
	15～18	実技技能（１）問題処理（２）環境整備（３）金品管理（４）金品搬送（５）社交教務
	19～38	記述・過去問題集演習・検定対策
	39～46	サービス接遇検定準１級対策（2級検定終了後～）
	47～50	敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語の適切な使用）
	51～54	文法（語と語の正しい連接）
	55～58	語彙（言葉の豊富さ、語と語の理解）
	5962	語彙（言葉の意味の理解・ことわざ・慣用句）
	63～66	表記（適切な漢字の使用、正しい送り仮名・異字同訓）
	67～70	漢字（漢字や熟語の読み方、意味の理解・四字熟語・漢字の読み）
	71～86	対策授業　過去問題演習
	87～90	2年次予備学習スタート

成績評価方法	出欠席（20%）、平常点（30%）、提出物・小テスト・検定結果（50%） ※公欠以外で検定を休んだ場合は、再試対象とする。
使用テキスト／教材	サービス接遇検定2級公式テキスト・実問題集（早稲田教育出版） 日本語検定　公式テキスト・練習問題集・過去問題集（東京書籍）
獲得スキル	接客・接遇の考え方を理解し、コミュニケーションの道具としての日本語をマスターする。
関連科目	マナー・接遇Ⅱ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	ボイストレーニングⅠ
学科・コース	本科共通
担当教員	太田玲子・もりかよこ・神田あや乃・眞田里子・林重吾

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	1	通年	必修	30	1

授業目的 到達目標	人は声から様々なエネルギーを感じています。話の内容や人柄が良くても伝わる声でないと相手には届きません。日頃無意識で出している「声」について仕組みを知り、自分の声の声格（声の性格）を知り、トレーニングを通して眠っている自分の声の魅力を開花させていきます。声のコントロール方が身につき印象力が上がりメンタル強化にもつながります。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング												
	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1・2	オリエンテーション・基礎トレーニング入門
	3～8	声分析・声のしくみ・基礎トレーニング
	9～16	声と呼吸、表情の関係・基礎トレーニング・課題文（初級）
	17・18	前期のまとめ・1分間スピーチ
	19～28	基礎トレーニング・原稿読み・課題文（中級）
	29・30	1年のまとめ・1分間スピーチ
		※小テスト　　前期、後期共に3回ずつ行う予定です。

成績評価方法	前期、後期同様　出席率（50%）　小テスト（30%）　取り組み（20%）
使用テキスト／教材	必要に応じて配布プリントあり
獲得スキル	正しい呼吸法・発声法・活舌法・コミュニケーションスキル・ヒューマンスキルアップ
関連科目	ボイストレーニングⅡ
その他	※　実務経験がある教員が担当する科目である　　※パソコン、イヤホン持参

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	イメージアップⅠ
学科・コース	本科共通（男子）
担当教員	立石　公平

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技		1	通年	必修	30	1

授業目的 到達目標	社会人（ビジネスマン）としてスムーズなスタートをきることができるよう清潔感のある身嗜み基本として、必要な考え方やスキルを身につけることを目標とします。また、表情や態度など自己表現についても学び、イメージアップを目指します。

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		

アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業	○		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○		PBL			模擬授業				

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	1～4	自己紹介、第一印象、ネクタイの結び方、スーツの着こなし
	5～10	ヘアセット、ビジネスシューズの種類と手入れ方法
	11～16	電話応対、プレゼンテーション、期末評価
	17～22	名刺の取り扱い、営業について
	23～26	ビジネス用語、文章力
	27～29	他人からの評価
	30	期末評価

成績評価方法	前期：レポート提出（60%）・内容（40%） 後期：期末試験（100%）
使用テキスト／教材	教員作成資料
獲得スキル	ビジネススキル
関連科目	イメージアップⅡ
その他	※実務経験のある教員が担当する授業である。

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	イメージアップⅠ
学科・コース	本科共通（女子）
担当教員	徳差・小林・千葉・中村・松島

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技		1	通年	必修	30	1

授業目的 到達目標	一年を通して客観的に外見と向き合い自立した外観管理をマスターし基本の就活スタイルからTPOに合わせた自己演出の幅を広げることができることを目標とします。体の内側にも目を向け、食を通し身体を整える方法を学ぶことで健康的な肌づくりを保つことを目標とします。

授業手法												
	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		

アクティブラーニング												
	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業					

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	１～２	オリエンテーション・メイクアップの前に
	３～４	制服に似合うヘアスタイル
	５～６	自分の顔を知る
	７～８	皮膚の基礎知識Ⅰとスキンケア概論
	９～１０	メイクアップ基礎理論
	１１～１２	基本のメイクアップ
	１３～１４	まとめ　実技チェック
	１５～１６	インナービューティ（栄養学の基本～健康と栄養のつながりについて）
	１７～１８	皮膚の基礎知識Ⅱ
	１９～２０	修正メイク①
	２１～２２	写真撮影のメイクアップポイント
	２３～２４	ハンドケアとパーツメイクのチェック
	２５～２６	セルフブランディングのためのイメージメイク
	２７～２８	復習
	２９～３０	期末試験

成績評価方法	・出席率と課題、授業態度（30%） ・後期末試験【筆記、フルメイク実技、ヘアアップスタイル実技】（70%）
使用テキスト／教材	・JMAセルフメイクテキストブック・イメージアップテキスト ・自分のヘアメイク用品（授業内で別途指示）・タオル・髪留め・ティッシュ
獲得スキル	接客の外観マナーの徹底
関連科目	イメージアップⅡ
その他	コミュニケーションの入口である第一印象を左右する顔の表情を作るスキルを身につけます。自己満足で終わらず社会人として他者を気遣う外観マナーを身につけましょう。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	第二外国語Ⅰ
学科・コース	本科共通
担当教員	金　小賢・楊　移苗・邱　馨慧・鄭　泰元

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
講義・演習	1	通年	必修	60	4

授業目的 到達目標	中国語または韓国語を選択し、文字の読み方と正しい発音を身に付けます。また、異文化の理解を深め、簡単な挨拶、自己紹介、また航空業界・ホテル業界・観光分野で役に立つ決まり文句を習得することを目標とします。

授業手法					
・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○
・オンデマンド					

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1～2	中国語・韓国語とその勉強法の紹介
	3～10	発音規則（ピン音・ハングル母音・子音）
	11～14	発音練習、挨拶、自己紹介
	15～16	挨拶
	17～20	自己紹介
	22～28	作文基本演習
	28～30	前期の復習
	31-32	前期評価試験
	33～36	おもてなし会話
	37～42	動詞作文・　形容詞作文・疑問文作文
	43～52	航空空業界の接客会話・ホテル業界の接客会話・観光業界の接客会話
	53～58	航空業界接客ロールプレイ・ホテル業界接客ロールプレイ・観光業界接客ロールプレイ
	59～60	後期評価試験

成績評価方法	後期試験50%、提出課題20%、小テスト20%、出席率・授業態度10%
使用テキスト／教材	中国語初級マスター22、接客のお決まりフレーズ600、改訂版パランセ韓国語初級
獲得スキル	航空業界・ホテル業界・観光業界でのシーン別における接客会話
関連科目	第二外国語Ⅱ、観光業界全般の科目
その他	復習をきちんと行い、提出物の期限を守ること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	海外研修
学科・コース	本科共通
担当教員	各コース担任

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	時間数は45分換算です
演習	1	後期	必修	60	2	

授業目的 到達目標	海外渡航にて日本以外の異文化を体験することを目的とします。滞在時には、英語のコミュニケーションにも挑戦し、日頃の英語学習を実践します。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	○
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	1～2	パスポート説明会
	3～4	渡航前説明会
	5～6	グループ行動計画の作成
	7～8	最終説明会
	9～60	海外研修

成績評価方法	・研修への参加とレポート提出(100%)
使用テキスト／教材	・オリジナルしおり
獲得スキル	
関連科目	
その他	

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	コミュニケーションサポートⅡ
学科・コース	本科共通
担当教員	各担任

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	時間数は45分換算です
実技	2	通年	必修	30	1	

授業目的 到達目標	学内の各種行事を実施するための科目です。コースを超えての集団行動や活動を通して多くの交流を持つことを目的とします。また後半には、観光資源基礎知識の学習も行う。

授業手法												
	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド					

アクティブラーニング												
	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	1～4	始業式・健康診断
	5～8	S-AIRフェスタ
	9～10	終業式
	11～12	始業式
	13～24	観光資源基礎
	25～26	終業式
	27～28	始業式・ニューイヤーセミナー
	29～30	学内表彰式

成績評価方法	・出席（５０%）、観光資源基礎期末試験（５０%）
使用テキスト／教材	オリジナル観光サブノート
獲得スキル	コミュニケーション能力
関連科目	コミュニケーションサポートⅠ
その他	

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	キャリアサポートⅡ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	小澤、小尾、阪本、草場、水谷						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
	演習	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	就職活動の中で特に必要とされるコミュニケーション能力の向上を目指します。 後期は教養講座の受講を通して、社会人としての知識教養を養い、スムーズに社会人としてのスタートが切れるようにすることを目標とします。						
授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL	○	模擬授業			

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	1～10	就職活動コミュニケーション能力UP　模擬面接指導　（オンライン含む）
	11～18	就職活動コミュニケーション能力UP　グループディスカッション　（オンライン含む）
	19～28	小論・レポート作成等の作文対策　①
	29～36	小論・レポート作成等の作文対策　②（社会問題への取り組み　プレゼン含む）
	37～40	コミュニケーション能力UP　電話応対基礎と実践
	41～48	教養講座　①　②　③
	49～54	教養講座　④　⑤
	55～60	教養講座　⑥　⑦

成績評価方法	前期：出欠席　５０％　　平常点　５０％　（取り組み姿勢・提出物） 後期：出欠席　５０％　　提出レポート　５０％
使用テキスト／教材	就活ファイル、ノート、就職活動セット
獲得スキル	常に自分の意見を持ち、発信できる力と社会に出てからも発揮できるスキルを身に付けます。
関連科目	キャリアサポートⅠ、立居振舞い
その他	※実務経験のある教員が担当する教科です。

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	パソコン演習Ⅱ
学科・コース	本科共通
担当教員	白鳥佑弥

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	2	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	前期はExcel機能を学習し、検定試験に挑戦します。 後期はWORD編集機能を定着させ、レポートが作成できる応用力を学習を行います。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1～4	Excel（表示形式の利用）
	5～8	Excel（オートフィル、式入力、作成）
	9～12	Excel（グラフの作成、構成要素の編集）
	13～16	Excel（データの並べ替え、抽出）
	17～20	Excel（総合演習）
	21～36	Excel総合演習
	37～40	Word（タブ、リーダー、インデントの書式設定）
	41～44	Word（行間の書式設定）
	45～50	Word（スタイル利用方法、演習）
	51～56	Word（表紙、ページ番号と目次の作成）
	57～58	Word総合演習
	59～60	ICTリテラシー（インターネット活用、著作権、ウイルス対策、Windowsセキュリティ）

成績評価方法	評価試験（Word） 60% 、Excel演習 30% 、出席率・学習意欲 10%
使用テキスト／教材	情報リテラシーパーフェクトブック、Excel検定問題集
獲得スキル	Excel基本的な利用、Wordを使ったレポート作成
関連科目	パソコン演習Ⅰ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である ・Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標登録です ・本文では、TMおよび®マークは明記しておりません

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	英会話Ⅱ
学科・コース	本科共通
担当教員	Cook、Swift、Anthony、関根、山梨、中西

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	2	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	This course is topic-based and provides students with opportunities to explore various topics in English. Activities include interviews, role-plays, and other task-based activities.

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1～6	Unit 1: Photography (ohotographs, selfies, and memorable events) Unit 2: Dreams & Wishes (future plans, goals, and ambitions)
	7～12	Unit 3: Jobs & Careers (interview questions, career choices) Unit 4: Fashion (styles, brands, and recommended stores)
	13～18	Unit 5: Weekends (hobbies, plans, and scheduling) Unit 6: Mobile Phones (text messaging, apps, and phone functions)
	19～24	Unit 7: Restaurants (ordering food, recommending places) Unit 8: High School (remembering past events and people)
	25～30	Unit 9: Theme Parks (park attractions, theme park design) Unit 10: Family (family members and special family events)
	31～36	Unit 11: Food (diet and nutrition, meal planning) Unit 12: Magazines (genre, headlines, celebrities)
	37～42	Unit 13: Future Plans (goals, dreams, ambitions) Unit 14: Internet (favorite websites, social media, e-mail)
	43～48	Unit 15: Music (genre, instruments, song rankings) Unit 16: Weather (seasons, storytelling, weather adjectives)
	49～54	Unit 17: Christmas & New Year (festivals, verbs related to festivals) Unit 18: Christmas & New Year (festivals, year review)
	55～60	Topic Review Oral Proficiency Test

成績評価方法	Oral Proficiency Test （100%）
使用テキスト／教材	English ConversationⅡ Textbook
獲得スキル	English Speaking & Listening
関連科目	英会話Ⅰ
その他	This class is conducted primarily in English, Students are asked to try to maintain an English only environment as much as possible during class and activities.※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	英語検定Ⅱ
学科・コース	本科共通
担当教員	Anthony Cook、杉山、関根、山梨、増田、中西

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
講義・演習	2	通年	必修	120	4

授業目的 到達目標	コミュニケーションツールとしての英語の運用能力を資格試験取得を通して身に付ける。レベルに応じた６クラス編成で目標スコア取得を目指す。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1～12	Reading; Part 5: Part of Speech Grammar
	13～18	Listening: Photographs - Single/Multiple Person / Scenes
	19～26	Listening: Q&A - WH Questions / Offers / Requests
	27～34	Reading; Grammar - Part of Speech / Conjunctions
	35～42	Listening: General Information Questions/Specific Detail Questions
	43～50	Listening: Graphic & Meaning in Context Questions
	51～62	Reading; Part 7: Reading: Introduction to Single Passage Items
	63～72	Reading; Part 7: : Single Passage Review Test
	73～80	Reading; Part 7: Introduction to Multiple Passage Items
	81～88	Reading; Part 7: Vocabulary Building
	89～96	Reading; Part 5: Advanced Grammar Patterns
	97～104	Reading; Part 6: Sentence Position Problems
	105～112	Reading; Part 7: Sentence Position Problems
	113～120	Listening: Full Review Test / Reading: Full Review Test / Vocabulary Building

成績評価方法	資格試験スコア(90%)、出席率・平常点(10%)
使用テキスト／教材	新TOEICテストスーパー英単語・各レベル別クラス選定のテキスト
獲得スキル	コミュニケーション英語運用能力(Speaking, Listening,Reading,Writing)
関連科目	英語検定Ⅱ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	サービス接遇Ⅱ
学科・コース	本科共通
担当教員	小澤恵巳子　小尾純子　阪本知恵　草場美奈子　齋藤悦子

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習	2	通年	必修	90	3

授業目的 到達目標	ビジネス社会の一員として必要な知識と技能の基本を身につけることを目標とします。またビジネス実務の遂行について理解を持ち、一般的な業務を行うのに必要な知識、技能を持つことを目標とします。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	１～４	【ビジネス文書】表記技能　総合・用字
	５～８	【ビジネス文書】表記技能　用語・書式
	９～１２	【ビジネス文書】表現技能　正確な文章・分かりやすい文章
	１３～１６	【ビジネス文書】表現技能　図表・礼儀正しい文章
	１７～２０	【ビジネス文書】実務技能　社内文書・社外文書
	２１～２４	【ビジネス文書】実務技能　文書の取り扱い・添削指導
	２５～４４	【ビジネス文書】検定対策　検定試験
	４５～４７	後期科目プレイスメントテスト等
	４８～６０	【ビジネス実務マナー】資質・企業実務・対人関係
	６１～６８	【ビジネス実務マナー】電話実務・技能
	６８～８６	【ビジネス実務マナー】　技能・検定対策　　検定試験
	８７～９０	マイマナーブック作成

成績評価方法	出欠席20%　平常点（忘れ物、提出物）30%　検定50% *検定を公欠以外の理由で欠席した場合は、再試対象とする。
使用テキスト／教材	ビジネス文書検定実問題集2級/3級、ビジネス文書2級ガイド ビジネス実務マナー検定実問題集2級/3級
獲得スキル	接遇マナー全般、ビジネス文書作成、ビジネスマナー全般
関連科目	サービス接遇Ⅰ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	ボイストレーニングⅡ
学科・コース	本科共通
担当教員	太田玲子・もりかよこ・神田あや乃・眞田里子・林重吾

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	2	通年	必修	30	1

授業目的 到達目標	人は声から様々なエネルギーを感じています。話の内容が良くても人柄が良くても伝わる声でないと相手には届きません。昨年習得した声のコントロール法をさらに磨き、見た目と同様声の力で印象力を上げていきます。自分の声の魅力を開花させる事でメンタル強化にも繋げスピーチ力アップも目指します。

授業手法					
・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング							
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1～2	昨年度の復習　　基礎トレーニング応用入門
	3～13	基礎トレーニング応用　　課題文ビフォアーアフター中級　　原稿読み
	14～15	前期のまとめ　　1分間スピーチ
	16～28	基礎トレーニング応用　　課題文ビフォアーアフター上級　　原稿読み
	29～30	総まとめ　　1分間スピーチ
		※小テスト　　前期、後期共に3回ずつ行う予定です。

成績評価方法	前期、後期同様　　出席率（50%）　小テスト（30%）　取り組み（20%）
使用テキスト／教材	必要に応じて配布プリントあり
獲得スキル	正しい呼吸法。発声法、活舌法。コミュニケーションスキル。ヒューマンスキルアップ
関連科目	ボイストレーニングⅠ
その他	※実務経験がある教員が担当する科目である　　※パソコン・イヤホン持参

シラバス（授業概要）　2022　年度

授業科目名	イメージアップⅡ
学科・コース	本科共通（女子）
担当教員	小林・千葉・中村・山本・松島

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
	実技	2	前期	必修	30	1

授業目的 到達目標	一年生で身につけた基礎を定着し、コミュニケーションに必要な教養を身につけセルフブランディング能力を高めることを目標とします。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	１～２	1年の実技復習・就活マナーと顔型にあったネックライン選び
	３～５	コミュニケーションスキルを磨く：日本茶の基礎知識
	６～８	パーソナルカラー概論、色の仕組みとトーンについて
	９～１１	パーソナルカラー4シーズンについて①属性と見え方、代表色選別
	１２～１４	パーソナルカラー4タイプ診断
	１５～１７	パーソナルカラー4シーズンについて
	１８～２０	シルエット分析
	２１～２３	カラーコーディネート
	２４～２６	セルフブランディング発表準備
	２７～２８	期末試験
	２９～３０	セルフブランディング発表

成績評価方法	・出席率と課題、授業態度（30%）・期末筆記試験、制作物、セルフブランディング発表（70%）
使用テキスト／教材	・色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト・イメージアップテキスト ・199a配色カラーカード・JMAセルフメイクテキストブック ・はさみ・のり・ファッション雑誌 ・自分のヘアメイク用品（授業内で別途指示）
獲得スキル	基礎を応用に広げるセルフブランディング
関連科目	イメージアップⅠ
その他	自分の個性を客観的に分析し、自己満足で終わらず社会人として他者を気遣う外観マナーを身につけましょう。海外でも注目されている日本茶の魅力を知り、スキルを伸ばし教養を高めましょう。※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	イメージアップⅡ（男塾Ⅱ）
学科・コース	本科共通（男子）
担当教員	水谷　和史

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	2	前期	必修	30	1

授業目的 到達目標	身だしなみをとｔ職場での人間関係づくりの為、自己分析能力、他者理解力、組織においての適応力を養う

授業手法												
	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド					

アクティブラーニング												
	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL	○	模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	１～６	身だしなみを整えるための技術（発展）
	７～１０	栄養について
	１１～１４	自己理解と他者理解（自分紹介と他人紹介、他者理解と共感）
	１５～１８	組織の内外での自己
	１９～２４	チームワーク（リーダーの役割、マネージャーゲーム）
	２５～３０	チームワークの熟成　/　説得するには（コンセンサス法）

成績評価方法	レポート70%/出席率・授業態度30%
使用テキスト／教材	・職場の人間関係づくりトレーニングから抜粋したレジュメ／アイロン
獲得スキル	社会人としての身だしなみを整える技術／社会適応力
関連科目	イメージアップⅠ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	第二外国語Ⅱ
学科・コース	本科共通
担当教員	金　小賢・大石　節子・楊　移苗・小林　範彦・朴　中圓・中西　裕子

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習・講義	2	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	1年次の応用です。航空業界・ホテル業界・観光分野でのシーンを想定し、中国語もしくは韓国語で接客会話ができるようになることを目標とします。また、スタッフとお客さま役に分かれ、実践的なロールプレイでの習得を目指します。

授業手法												
	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド					

アクティブラーニング												
	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	時間数	内容概略
	1～6	ビジネス会話の基本・ビジネス会話の心構え・接客の基本用語
	7～10	観光会話1・観光会話2
	11～18	一般の接客相槌用語1・一般の接客相槌用語2 ・ 学生によるスキット1・学生によるスキット2
	19～22	前期の復習 ・前期評価
	23～32	ホテル接客用語 ・ 空港接客用語・会話実演（空港グランド１）・会話実演（空港グランド２） 会話実演（ホテル・旅館1）
	33～40	会話実演（ホテル・旅館2）・トラブルの対応 （紛失）・トラブルの対応（盗難）・トラブルの対応（注意 , 警告）
	41～52	トラブルの対応（病気、怪我）・ 時間用語で会話作文１・第４回 重要動詞用語で会話作文1・重要動詞用語で会話作文2
	53～58	中国・韓国社会で流行りの言葉１・中国・韓国社会で流行りの言葉２・後期総まとめ・試験準備
	59～60	後期評価

成績評価方法	後期試験50%、提出課題20%、小テスト20%、出席率・授業態度10%
使用テキスト／教材	中国語初級マスター22、接客のお決まりフレーズ600、すぐに使える接客中国語会話、NEWカナタKOREAN初級
獲得スキル	航空業界・ホテル業界・観光業界でのシーン別における接客会話
関連科目	第二外国語Ⅰ、観光業界全般の科目
その他	復習をきちんと行い、提出物の期限を守ること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　　2022　年度

授業科目名	海外研修
学科・コース	本科共通
担当教員	各コース担任

授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	時間数は45分換算です
実習	2	前期	必修	90	3	

授業目的 到達目標	海外渡航にて日本以外の異文化を体験することを目的とします。滞在時には、英語のコミュニケーションにも挑戦し、日頃の英語学習を実践します。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	○
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業			

授業内容・授業計画	回数（時間数）	内容概略
	1～2	パスポート説明会
	3～4	渡航前説明会
	5～6	グループ行動計画の作成
	7～8	最終説明会
	9～60	海外研修

成績評価方法	・研修への参加とレポート提出(100%)
使用テキスト／教材	・オリジナルしおり
獲得スキル	
関連科目	
その他	